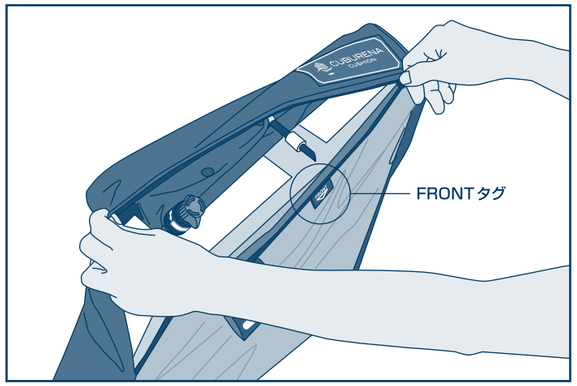
カバーのお手入れ方法

※業務用機械での洗浄・乾燥についてはお問い合わせください。

● 専用カバー（紺色）は取り外して洗濯することができます。

- 専用カバーを取り付ける際は、カバーの「FRONT」表示と調圧バルブの向きを確認してください。
- 調圧バルブはカバー角部の穴を通して外側に出します。
- 調圧バルブに接続するチューブが折れたり、潰れたりしていないことを確認した後、インナーカバーの挟み込みに注意しながらカバー前面のファスナーを閉めてください。



- 液温は30℃を限度とし、弱い手洗いで洗濯してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- アイロンは使用しないでください。
- 直射日光を避け、陰干ししてください。

保管方法について

● エアセル側を上にして、水平に置いて保管してください。
● 長期保管の際にはクッションをビニール袋で包み、お届け時に入っていた箱に収めて保管してください。
● クッションの上に重いものを置いたり、圧縮された状態で保管しないでください。ヘタリや破損の原因になります。
● 高温多湿や直射日光の当たる場所は避けてください。熱や紫外線で製品の劣化を早めます。

仕様

品番	CK-400
サイズ／重量	幅40cm×奥行40cm×厚さ10cm ／ 1.1kg
材質	専用カバー　：上面／ポリエステル100%、ウレタンフィルム加工（防水、抗菌、伸縮） 下面／ターポリン布（滑り止め加工、防水） インナーカバー　：ウレタンフィルム ウレタンフレーム：ウレタンフォーム ウレタンベース　：ウレタンフォーム エアセル　：ウレタンフィルム表面シボ加工（抗菌）、ウレタンフォーム 調圧バルブ　：ABS、POM、SUS、シリコーンゴム 吸気バルブ　：ポリプロピレン、シリコーンゴム、ナイロン

専用カバーのみの販売もご用意しております。

1404-A

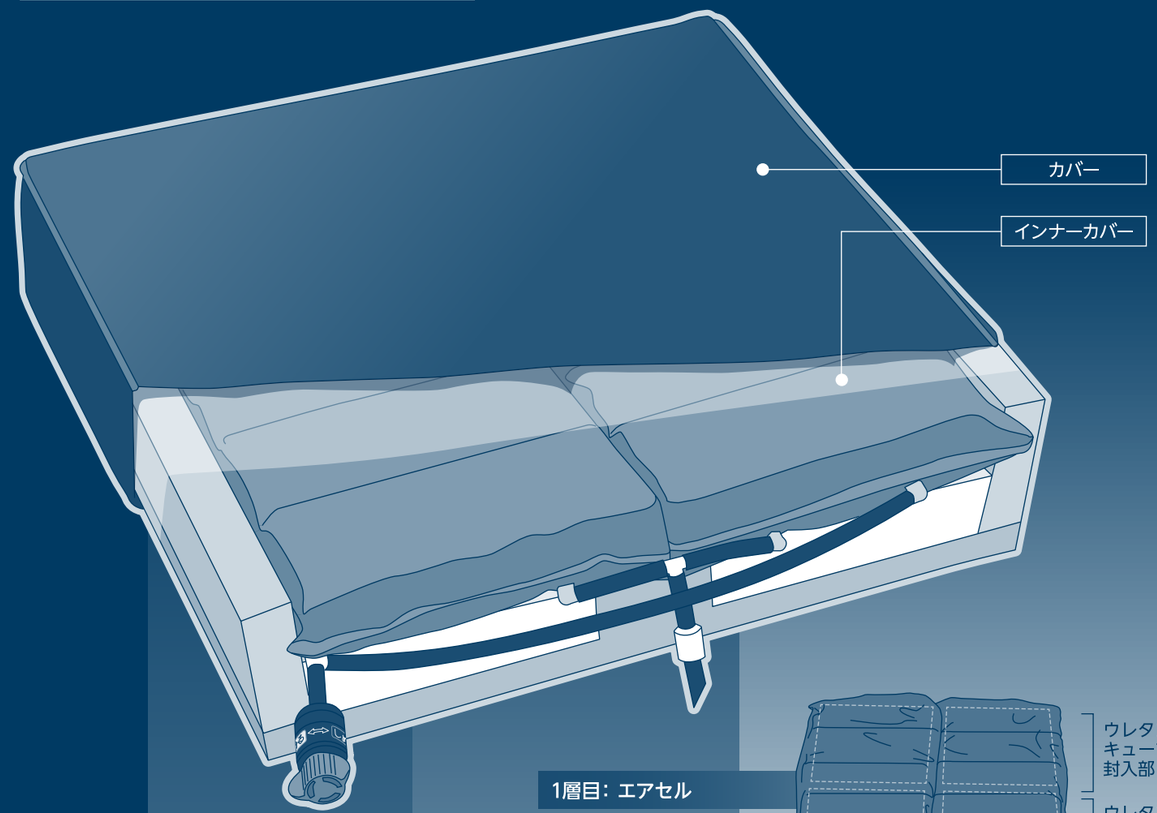
株式会社 ケープ
〒238-0013　神奈川県横須賀市平成町2-7　TEL.046-821-5511（代）　FAX.046-821-5522
URL　http://www.cape.co.jp　E-mail　lovingcare@cape.co.jp

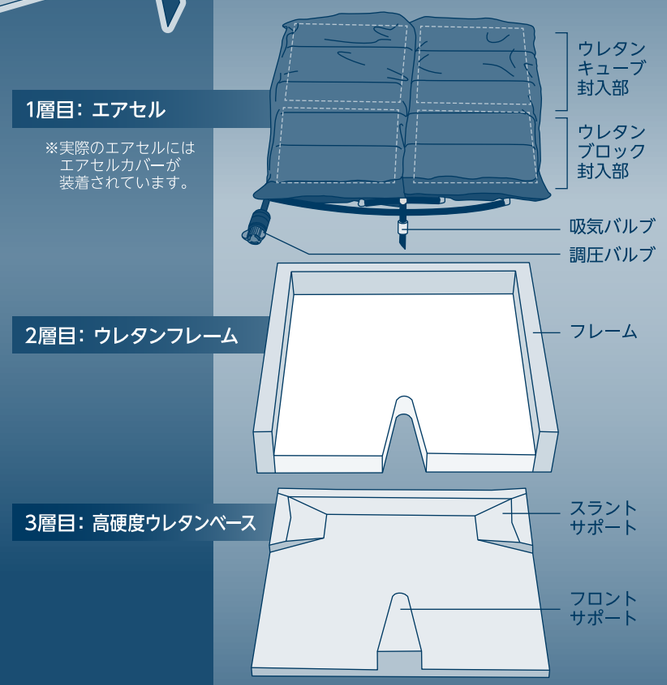
体圧分散クッション／床ずれ防止クッション

キュブレナクッション

車いす用高機能エア式ハイブリッドクッション

取扱説明書





キュブレナクッションは、
エアセルと高硬度ウレタンベースを組み合せた新発想のハイブリッド構造により、優れた体圧分散性能と姿勢保持を両立した高機能クッションです。

安全にお使いいただくために

キュブレナクッションの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、
必ず本書の指示に従ってください。

重要安全情報

体圧分散クッションのご使用中に生じる可能性のある災害を回避するためには、その原因となり得る
危険の要素がどこにあるかを予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を
予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義して記載してあります。

警告：このマークに従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる危険性を警告しています。
特に重要なため、下記「警告１」～「警告５」にまとめて記載します。

警告 1 体圧分散クッションのご使用に際しては、必ず医師や看護師などの専門家と相談の上ご使用ください。
またご使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。
症状悪化や事故の恐れがあります。

警告 2 キュブレナクッションは、調圧バルブを操作することでエアセルの内圧が最適な状態に自動調圧される構造です。
必ず「ご使用方法」の説明に沿ってご使用ください。療養者がご自分で調圧バルブを操作できない場合は
介護者の方が操作し、製品を適切な状態で使用してください。
誤った方法で使用すると、体圧分散性能が十分に発揮できなくなるため、症状悪化の恐れがあります。

警告 3 キュブレナクッションには表面・裏面、前側・後側の使用方向が決められています。
必ず「ご使用方法」に記載した設置状態でご使用ください。誤った向きで使用すると、
体圧分散性能や安定性が発揮できなくなるため、症状悪化や事故の恐れがあります。

警告 4 体圧分散クッションは身体を柔らかく支え、保持するのが特徴です。
ご自身で身体を支えられない方は、必ず第三者の立ち会いのもとご使用ください。
クッションから転落する恐れがあります。

警告 5 移乗などでやむを得ずクッションの端に座るときは、滑り落ちないように身体を支えてください。
転倒・転落など思わぬ事故の恐れがあります。

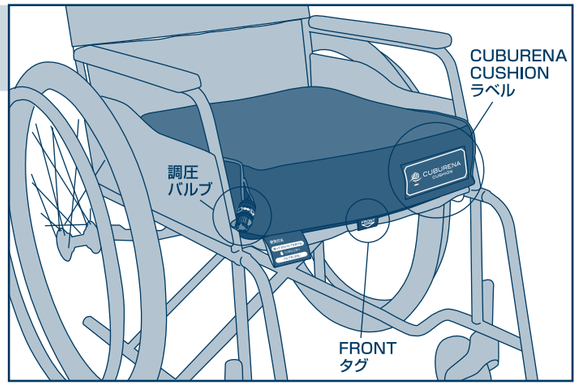
ご使用上の注意

- クッションに飛び乗ったり過度の荷重を掛けたりしないでください。転倒・転落を招く恐れや製品の破損につながる可能性があります。
- 鋭利なものでクッションを傷つけないよう注意してください。エアセルやウレタン類が破損する可能性があります。
- 調圧バルブに強い衝撃を与えないように注意してください。調圧バルブが破損すると、エアセルの内圧を適正に調圧することができません。
- 調圧バルブに液体がかかったり、バルブ内部に液体が入らないように注意してください。調圧バルブに液体が入ると適正に調圧することができません。
- インナーカバー（半透明の中袋）は、エアセルやウレタンフレームを衛生的に保護するものです。絶対に取り外さないでください。
- 高温多湿や長時間直射日光に当たる場所での使用は避けてください。カバーやエアセル、ウレタン類が劣化する恐れがあります。
- 必ずクッションの大きさに適したサイズの車いすでご使用ください。適切なサイズの車いすでないと、クッションの機能・性能を十分に発揮させることが出来ません。
- 本製品に異常や疑問を感じた場合は、お買い上げの販売店、もしくは（株）ケープまでお問い合わせください。

ご使用方法

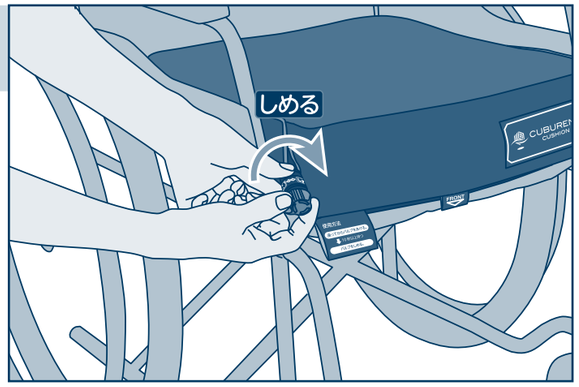
1 車いすへの設置
（使用していただく前の準備）

- クッションに表示している「FRONT」タグが前側になるように設置します。
- 「FRONT」側の「CUBURENA CUSHION」の文字が、上下正しい向きになるよう車いすに設置してください。
- 調圧バルブは、車いすのフレームに挟み込むことがないよう注意し、フレームの前方に出したまま使用してください。



2 調圧バルブを確認してください
（使用していただく前の準備）

- 調圧バルブがしまっていることを確認してください。
- 調圧バルブがあいている場合は、調圧バルブに表示している「しめる」側の赤いラインまでツマミを回します。

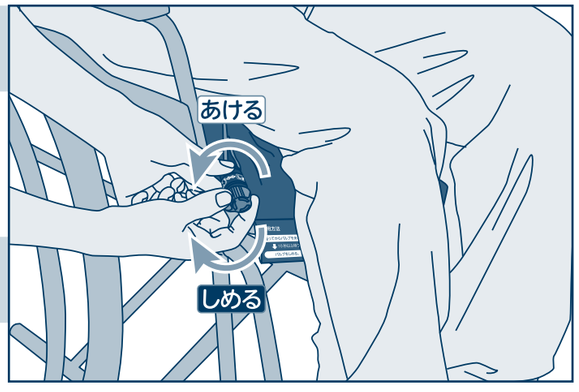


3 療養者に座っていただき、調圧バルブをあけます

- 療養者が座ってから調圧バルブをあけます。
- 調圧バルブをあけると同時に調圧バルブから空気の抜ける音がしますが、適正に調圧されている音であり、故障ではありません。

4 調圧バルブをあけてから10秒後に調圧バルブをしめます

- 調圧バルブをあけてから１０秒で調圧が完了。エアセルの内圧が最適に調整されます。
- 調圧バルブに表示している「しめる」側の赤いラインまでツマミを回し、エアセルの内圧を保持します。



5 調圧が完了しました。このまま使用してください。

- 療養者が車いすから離れ、再度ご使用される場合は、最初から一連の調圧操作を行ってください。
- 長時間使用される場合は療養者の状態を十分に観察していただくとともに、２時間おきを目安に一連の調圧操作を行ってください。